

# 事故

## 大島沖で貨物船同士が衝突！

WAN HAI 号の船尾部に ALPHA ACTION 号の船首部が刺さる



下田海上保安部 提供

7月27日午前2時20分頃、利島灯台から北北東約7.5km付近の海上において、シンガポール船籍 WAN HAI 307 号（25836トン、乗組員21名、積荷コンテナ1082個、横浜から香港に向け航行中）の船尾部に、ギリシャ船籍 ALPHA ACTION 号（77211トン、乗組員23名、名古屋からチリに向け航行中）の船首部が突っ込んだ。（資料1）WAN HAI 307 号は左舷側が損傷し、機関室が浸水中で右舷に約12度傾斜している。午前8時現在、大島南東約12kmを東に向け時速4～5kmで漂流中。WAN HAI 307 号の船尾付近から幅500m、長さ1kmの浮流油を確認。救助作業のため、サルベージ会社のタグボートが現場に向かっている。午前10時15分現在、乗員に異常なし。（資料1、資料2）



下田海上保安部 提供

このような衝突海難事故は、深夜や濃霧という視界の悪い時や注意力が低下した時に起きやすい。

輸出入で成り立つ日本にとって、経済の大動脈である海上交通の安全性の確保は最重要課題の一つである。

写真提供：下田海上保安部（平成19年7月27日午前6時10分頃、巡視艇「いずなみ」より）

参考資料：資料1 下田海上保安部「7月27日大島沖衝突海難事故第1報」H19.7.27.6:00 発表

資料2 下田海上保安部「7月27日大島沖衝突海難事故第2報」H19.7.27.10:15 発表

謝辞：上記の皆様のご協力とご理解に感謝申し上げます。

2007年7月28日現在。今後、更新されることがあります。